sina 新闻中心

インフルエンザピーク期到来 専門家に聞く

新浪新闻 news.sina.com.cn 2017-07-21 11:10 来源：大洋网

大洋網訊 この時期になって、東莞の各大病院の外来急診が患者で溢れかえるという現象が出現、そのうち、患者はみな圧倒的にインフルエンザが多い。 一部の家庭や集団では、インフルエンザ様症状を持つ人が多数現れているが、子供たちが多く含まれている。

昨日、東莞市疾病管理センター（以下「**CDC**」）は、市内の大型病院モニタリングスポットで診察を受けたインフルエンザ様患者中、風邪・咳患者 **10** 人中 **2**～**3** 人がインフルエンザウィルスに感染していた； 現在、東莞市のインフルエンザ発症レベルは昨年同期より高くなっており、今後もしばらくは上昇傾向が続き、同市が既にインフルエンザのピーク期にあると発表した。

今年の流行ピークは少し遅め

7 月以後、東莞の大病院の外来受診者数が **20**～**30**%増加している。 『これまで受診に来た患者中では、インフルエンザ様症状が現れていた人が多い。』 東莞市人民医院万江院区の急診科の游俊廷副主任は、彼ら急診科の医師も **3** 名が罹患してしまったと語った。

游俊廷副主任は、『これまでの受診者中、大多数にインフルエンザ様症状が見られる： 突発の高熱、全身の筋肉痛、のどの痛み、咳などだ。インフルエンザは、特に集中発生するという点で、普通の風邪とは区別できる、一家で皆同じような症状が出た場合、我々は優先的にこれがインフルエンザではと考えてみるようにしている。』 游俊廷副主任が診察した患者中、家庭で子供の発熱が終わったところで、大人が発熱するという状況が多くみられる。

游俊廷副主任は、昨年は「**4** 月末から **7** 月初めにかけて」が、インフルエンザのピーク期となったが、今年のインフルエンザピーク期は少し遅めだとしている。これまでの経験から、『今年の **7** 月から **8** 月がピーク期となるのでは』と見ている。

東莞市婦幼保健院や東莞市児童医院、東華医院、康華医院でも同様だ。 東莞市児童医院小児科の劉国軍副主任は、通常、昼間の小児科は診療室 **11** 室を全開しており、夜間は、医師 **2** 名が当直にあたっているが、最近では夜間の医師 **2** 名を増員していると語った。

優勢なインフルエンザ株は A 型の H3 型

インフルエンザはインフルエンザウィルスが引き起こす一種の急性気道感染症で、伝染性が強く、伝染速度も速い。

「**2005** 年以来、東莞ではインフルエンザのモニタリング制度をつくっており、現在では **13** の病院がインフルエンザ様患者のモニタリングスポットとなっており、病原学モニタリングスポットとしては **5** つの病院がある。」 東莞市疾病管理センターの専門家は、これまでのモニタリングデータから、東莞市のインフルエンザ発症者は子供や青少年が主であり、学校などの人が集中しているところはインフルエンザの発症確率が高いところとなっている、ピーク期は一般には冬から春にかけてと、夏になるが、現在、東莞市は既にピーク期になっている」

東莞市 **CDC** は、現在、東莞市のインフルエンザ発症レベルは昨年同期より高くなっており、今後もしばらくは上昇傾向が続き、同市が既にインフルエンザのピーク期にあると発表した。 モニタリングスポットで受診した患者中、**10** 人中 **2**～**3** 人はインフルエンザウィルスに感染していた。

東莞市 **CDC** の専門家は、現在、東莞市のインフルエンザ株は **A** 型の **H3** 型であり、未だに重症例や死亡患者が増加する状況にはなっていないとしている。

アドバイス： インフルエンザワクチンは 10 月まで待つ必要あり

インフルエンザの予防、特に重症化を防ぐ最良の手段はインフルエンザワクチンの接種をすることだ。だが、インフルエンザワクチンは季節性のワクチンであり、毎年一度の生産であり、東莞市のインフルエンザワクチンの接種時期は毎年 **10** 月から翌年の **5** 月とされている。 これにより、現時点では、東莞市には市民の接種するインフルエンザワクチンがない状態にある。 市民は 10 月に各社区衛生サービスセンターで **2017**～**2018** 年のインフルエンザワクチン接種が受けられるようになるまで待たねばならない。

一部の人々は特にインフルエンザのもたらす影響に注意が必要だ。 市 **CDC** は、インフルエンザが（心肺疾患のような）潜在している疾病を悪化させること、或いは、肺炎を引き起こすことがあり得るので、

老人や各種慢性疾患をもった身体虚弱者には合併症を発生しやすくさせ、病死率も高めることになると注意喚起している。

このほか、**5** 歳以下の児童や妊婦、慢性基礎疾患患者は十分に気を付けねばならない。 特に、ごく少数の若者にあっては、インフルエンザウィルス感染後にウィルス性心筋炎を誘発することがあり、悪くすると心不全や心原性ショックで突然死することもあるとしている。

市民はワクチン接種後に風邪をひいて発熱することがあるのかと疑う人も？

市 **CDC** の専門家は、一つには普通の風邪ウィルスにより引き起こされることがあるが、他方で、ワクチン接種後に抗体ができる前の段階でインフルエンザウィルスに感染して発症するということもあり、『インフルエンザワクチンは、インフルエンザウィルスが引き起こすインフルエンザの予防ができるだけで、その他のウィルスが引き起こす普通の風邪の予防にはならない； インフルエンザワクチン接種後、保護抗体ができるまでには一般的に **2** 週間前後かかるのだ。』

インフルエンザ予防に関する専門家の意見

１．換気通風をよくすること

居室の窓を開けて換気通風を抑止、ヒトの密集しているところや空気の流れの悪い場所にはあまりゆかぬこと。 密閉されたエアコン環境の中に長時間いないこと。公共場所の自然換気通風は **30** 分以上の換気を一日最低 **2** 度以上実施すること。

セントラル空調を利用しているところでは、公共場所の通風換気に注意をしっかり払わないと、インフルエンザの集団発生リスクがある。

２．手洗いの励行

石鹸或いは手洗い液を使い流水で手を洗うこと。

３．適度な運動

平時から適度に体を鍛え、抵抗力をつけること。 労働と休息のバランスに注意し、過度な運動は控えること。

４．呼吸の衛生マナーに注意

クシャミや咳をする際には、ディッシュで口鼻を覆うこと。

Listen to experts to teach you how to prevent flu

Sina news news sina.com.cn 2017-07-21 11:10 Source: Ocean Network

Ocean Network : Recently, the major hospitals in Dongguan city have been occupied by patients. Among them, many are all influenza, and there are many patients with influenza-like symptoms at a certain family and entity, further, there are many child patients.

Yesterday, Dongguan City CDC informed that among influenza-like patients at the major hospitals in the city, 2~3 are infected with influenza virus out of 10 who have a cold(s) or coughing; now, incidence level is higher than the same period last year, and continuously rising in these weeks, which means the city of Dongguan is now in the peak season of flu.

This year's flu peak is a bit late

Since July, the volume of emergency patients at major hospitals in Dongguan city has increased by 20 ~ 30%. "Among these outpatients, many cases had flu-like symptoms." Wanjiang, the deputy director of Emergncy dept. of Dongguan City People's Hospital said that even three(3) of his doctors had been infected with influenza.

<Translation skipped the rest part of this article>

http://news.sina.com.cn/c/2017-07-21/doc-ifyihrwk1667507.shtml

:::::::::::::::::::::::::::::::: **以下は中国語原文** ::::::::::::::::::::::::::::::::

流感高发期到来 听听专家教你怎样预防流感

新浪新闻 news.sina.com.cn 2017-07-21 11:10 来源：大洋网

大洋网讯 这段时间以来，东莞各大医院门急诊纷纷出现了人满为患的景象，其中绝大多数患者都是流感，有一些家庭和集体单位有多人出现流感样症状，还有不少患者是孩子。

昨天，东莞市疾控中心通报称，在市内各大医院监测点就诊的流感样病例中，每 10 个监测感冒咳嗽病例中就有

2~3 人感染了流感病毒；目前，东莞流感发病水平高于去年同期，近几周呈持续升高趋势，全市目前已进入流感高发期。

今年的流感高峰有点迟

7 月以来，东莞各大医院的门急诊量普遍增加了 20%~30%。“前来就诊的患者中，出现流感样症状的比较多。”东莞市人民医院万江院区急诊科副主任、副主任医师游俊廷说，连他们急诊科的 3 位医生也中招了。

游俊廷说，前来就诊的患者中，大多出现流感样症状：突发高烧、全身肌肉酸痛、喉咙痛、咳嗽。流感跟普通感冒还是有区别，“特别是聚集性的，一家人出现相同症状的，我们都会优先考虑是流感。”在游俊廷接诊的患者中，不少家庭都出现小孩刚发烧完，又轮到大人发烧的情况。

游俊廷说，往年东莞在 4 月底至 7 月初属于流感高发期，今年流感的高发期推迟了。对比往年的经验，“我们考虑今年的 7 月到 8 月都是高峰期。”

在东莞市妇幼保健院、东莞市儿童医院、东华医院、康华医院，情况也是如此。东莞市儿童医院儿科副主任医师刘国军说，平时白天医院儿科是 11 个诊室全开，晚上两位医生值班，但最近夜班加了两位医生。

目前流感的优势毒株为甲型 H3 型

流感是由流感病毒引起的一种急性呼吸道传染病，传染性强，传染迅速。

“从 2005 年开始，东莞建立了流感监测系统，现共有 13 家流感样病例监测哨点医院，5 个病原学监测哨点医院。”东莞市疾控中心专家介绍，往年的监测数据显示，东莞流感发病人群以儿童和青少年为主，学校等集体单位是流感疫情的高发场所，“高发季节一般在冬春季和夏季，当前，东莞正值流感高发季节。”

东莞市疾控中心表示，目前，全市流感发病水平高于去年同期，近几周呈持续升高趋势，已进入流感高发期。在监测点就诊的流感样病例中，每 10 个人就有 2~3 人感染了流感病毒。

东莞疾控中心专家表示，目前东莞流感的优势毒株为甲型 H3 型，还未发现流感重症病例、死亡病例上升的态势。

提醒：想接种流感疫苗得等到 10 月份

预防流感及其严重并发症最有效的方法是接种流感疫苗。不过，由于流感疫苗是季节性疫苗，每年生产一次，东莞市流感疫苗的接种时间为每年 10 月到次年 5 月。因此，目前全市暂无流感疫苗供市民接种。市民需要等到今年 10 月再到各个社区卫生服务中心接种 2017~2018 年度的流感疫苗。

有几类人群需要特别注意流感带来的影响。市疾控中心提醒，流感能加重潜在的疾病(如心肺疾患)，或者引起肺炎，老年人以及患有各种慢性病或者体质虚弱者容易出现严重并发症，病死率较高。

此外，5 岁以下儿童、孕妇、慢性基础性疾病患者都需要小心。特别需要提醒的是，极少数年轻人感染流感病毒后有可能诱发病毒性心肌炎，严重可导致心力衰竭、心源性休克甚至猝死。

有市民疑惑，为什么接种疫苗后仍会感冒发烧？

市疾控中心专家解释，一方面可能是由普通感冒病毒引起，另外也可能是接种疫苗后至产生抗体前的这段时间感染了流感病毒而发病，“流感疫苗只能预防由流感病毒引起的流行性感冒，不能预防其他病毒引起的普通感冒；接种流感疫苗后一般在 2 周左右才能产生保护性抗体。”

专家教你预防流感

1. **常通风**

居室要勤开窗，多通风，少去人流密集、空气不流通的场所。不要长时间待在密闭的空调环境中，每天应确保办公场所自然通风至少 2 次以上，每次不少于 30 分钟。

使用中央空调的集体单位，若不注意做好办公场所的自然通风换气，就存在流感聚集性疫情发生的风险。

2. 勤洗手

使用肥皂或洗手液并用流动水洗手。

3. 适量运动

平时应保持适量的体育锻炼，增强抵抗力。注意劳逸结合，不要运动过量。

4. 注意呼吸卫生礼仪

打喷嚏或咳嗽时用纸巾掩盖口鼻。

文/广报全媒体记者汪万里